

よこはまユースレター

発行/公益財団法人よこはまユース
 tel.045-662-3716 fax.045-664-6254
 URL <http://yokohama-youth.jp/>
 Eメール soumu@yokohama-youth.jp

さくらリビング 開館1周年!

—たくさんの青少年が集まり、活動しました—

横浜市青少年交流センターの代替事業として、昨年4月に桜木町ぴおシティ6階にオープンした新たな青少年の活動拠点「青少年交流・活動支援スペース」(愛称: さくらリビング)。1年間が経過し、愛称に込められた想いのように『ゆるやかで温かな“くつろぎの場”=桜木町のリビングルーム』になっています。



青少年たちの“次の一歩”を後押し

平成29年1月までの青少年の貸室利用者は約24,300人、交流スペースの利用者は約7,000人。ダンスや演劇、バンドなど自分を表現できる場として、または学校文化祭などの準備、グループ活動の場など様々な形で利用されています。

「リビング」と言われる交流スペースでは、日常的にスタッフが一人ひとりの青少年と関わることで、青少年の心のサポートや自己肯定感を養う後押しをしています。ある高校生は、「自分はすごく人見知り。誰とも話しができる人のことをすごく羨ましく思っていた。ここに来るとスタッフが声をかけてくれるからだんだん話しができるようになった」と話してくれました。



青少年の“リビング”
 “交流スペース”

現在、「さくらリビング」では、青少年が参加できる地域活動へのお誘いや青少年を支えるボランティアをお待ちしております。是非、一度足をお運びください。

青少年と社会を繋げる・繋がるハブ(拠点)として

他にも、青少年が社会と繋がるハブ(拠点)となるよう、高校生が地域の施設に出かける「出張ボランティア体験」、地元野毛周辺を清掃する「地域貢献活動マチピカ」、日頃関わることのない裁判所や日本銀行などを訪ねる「社会見学ツアー」などの社会参加プログラムを実施するほか、青少年向けの相談窓口の設置や、HIV/AIDS 写真展といった青少年に身近な問題の啓発に取り組んでいます。こうした事業を通して青少年が世代を越えた人々と出会い、多様な価値観に触れる機会が増えてきていると同時に、参加者同士の交流の場が広がってきています。



▲桜木町をキレイに「マチピカ」

さくらリビング

- ◆開館時間/午前9時~午後10時
- ◆休館日/毎月第1日曜日、12月29日~1月3日
- ◆電話/045-263-8020
- ◆Eメール/kkospace@yokohama-youth.jp

みなさんのご寄附により実施しました! 野島クリスマスキャンプ (12月10日・11日)

横浜市内の個別支援学級に通う児童生徒を対象とした1泊2日の「第21回野島クリスマスキャンプ2016」を実施しました。和菓子屋さんの指導によるお菓子作りや市立横浜商業高校茶道部による茶道体験、市立金沢高校吹奏楽部によるクリスマスキャンドル…。保護者の皆さんが吹奏学部の演奏に合わせて「となりのトトロ」を歌って踊り始めると子どもたちは大喜びでした。「何が一番だった?」の問いかけに対して「眠っている時以外、すべて楽しかった」という子どもたちの声に、ある保護者からは「悩むことがいっぱいありますが、それでもやっぱり子どもが笑ってくれたら嬉しい! そんな思いが、このクリスマスキャンプにずっと流れているように感じました」との感想が寄せられました。最後に、ボランティアの手で作られたトンネルを子どもたちは名残惜しくくぐって、今年のキャンプも終了。実施に際しご支援していただいた、すべての皆さまに感謝申し上げます。



よこはまユース（本部事業）

青少年サイエンスプログラム「みなと☆プラネタリウム」

(2月4日)

市立高校と連携し「サイエンス」をテーマに取り組む事業です。今回は、みなと総合高校地球科学部の皆さんが、移動式プラネタリウムでの冬の星座解説と、ペーパークラフト式のプラネタリウム工作のプログラムを準備から進行まで担当しました。参加の小中学生からは、「あまり星に興味なかったけど、とても楽しかった。夜、星を見ようと思う」と嬉しい感想が寄せられました。



放課後キッズクラブ

他キッズとの交流会—南瀬谷小放課後キッズクラブ

(1月21日)

同じ瀬谷区にある阿久和小放課後キッズクラブをお招きして、一緒に科学体験をしました。みんなで協力しながら、まずは減圧ポンプの実験にチャレンジ！「風船がちっちゃくなった!!」「見て見て!しぼんでいるよ!」。この他、チリメンジャコに混ざっている小さな魚やタコなどの生き物観察をして標本カードを作りました。レアなツノオトシゴが見つかってラッキー!



横浜市青少年育成センター

子ども・青少年に関わる人が育成センターに大集合!

「第3回 横浜 子ども・青少年に関わる活動関係者の大交流会」

(2月5日)

横浜で子どもや青少年に関わる活動関係者が一同に会し、交流を深めるイベントを開催しました。集まったのは65人。前半はそれぞれの活動紹介、後半は7つの分科会に分かれて意見交換を行いました。同じ目標や関心を持つ人同士、いつまでも話が途切れない様子でした。

*主催「横浜子ども・青少年に関わる活動関係者の大交流会」を開く会



横浜市青少年育成センターが休館します

関内ホールは施設長寿命化のための改修工事を行うため、下記の期間休館いたします。これに伴い、青少年育成センターも休館期間は使用できなくなります。この間の対応については、決まり次第、HPなどでお知らせいたします。

ご迷惑をおかけいたしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

【休館予定期間】

平成29年11月13日(月)から平成30年9月30日(日)まで

*お問い合わせ 電話/045-664-6251

報告

よこはまユース 平成29年「新春のつどい」を開催しました!

(1月25日)

日頃からよこはまユースを支えていただいています皆さまに感謝をお伝えするとともに、「今年もよろしく願います」とご挨拶を兼ねた『新春のつどい』。今年も大勢の皆さまにお集まりいただきました。様々なかたちでご協力いただいた皆様に感謝状を直接お渡しさせていただいた後は、恒例のアトラクションです。今年は、職員2人の司



会で「新春お楽しみビンゴ大会」を行いました。豪華景品…とはいきませんでした(笑)、皆さまに楽しんでいただけたようです。

Thank you for your support.

ありがとうございました!

平成28年11月1日から平成29年1月31日までの寄附金

◆ ユース賛助会費	111件	365,000円
◆ 特定寄附金	合計 57件	57,000円
わくわく・生活体験キャンプ	19件	19,000円
野島クリスマスキャンプ	22件	22,000円
ハートフルスペース	16件	16,000円
◆ 一般寄附金	178件	178,494円

寄附金協力者 (日付順、敬称略)

【団体名】 横浜市立井土ヶ谷小学校PTA / 稲垣薬品興業(株) / (株) 大向 / (有) 温冷堂 / (株) サンセルフ / NPO 法人 横浜音楽協会 / (株) ジェイコムイースト横浜テレビ / 柴町内会 / 日本作法会 / 馬車道商店街協同組合 / 扶桑電機(株) / ブックオフオンライン / (有) 横浜ランパート協会

【個人名】 会沢 芳一 / 阿久津 強 / 浅野 俊博 / 安部 万里子 / 荒井 総平 / 有路 由紀子 / 飯塚 道子 / 石井 政光 / 坂垣 憲明 / 伊藤 敦子 / 井上 孝夫 / 岩崎 正身 / 岩崎 淳 / 岩崎 紀夫 / 岩澤 利雄 / 内野 貴彦 / 榎本 文夫 / 大石 俊雄 / 大久保 皓司 / 大久保 則子 / 太田 京子 / 大槻 惠津子 / 沖津 淑子 / 奥田 裕之 / 鬼武 チツコ / 鹿島 緑 / 柏村 茂 / 片岡 喜久江 / 片岡 暁 / 川口 俊行 / 川本 正秀 / 簡 伸治 / 熊井 憲一 / 雲井 耀一 / 五木田 涼子 / 齋藤 伸夫 / 酒井 勝己 / 坂口 三郎 / 坂爪 正博 / 佐々木 敏 / 佐藤 克徳 / 佐藤 邦彦 / 佐藤 博 / 嶋田 美保 / 下野坊 和子 / 杉浦 武胤 / 鈴木 千代江 / 須藤 健三 / 清田 邦男 / 高橋 宣子 / 瀧波 磨理江 / 橋 晃 / 田邊 義勝 / 田野井 伸泰 / 玉井 廣道 / 坪井 弘愛 / 坪内 一 / 中島 尚樹 / 中村 輝次 / 野田 義男 / 橋本 義昭 / 濱倉 公子 / 原 一義 / 美藤 愛 / 日比野 政芳 / 平野 嘉昭 / 福井 昭二 / 福岡 稔 / 古澤 竜夫 / 松本 小寿恵 / 三池 明 / 三井 巧 / 三橋 赫夫 / 宮之原 隆雄 / 安田 修二 / 山田 勝士 / 山本 亜紀子 / 横関 桂子 / 吉田 洋市 / 若木 一美

●編集後記● 平安の正倉院と呼ばれる春日大社。奈良時代に創建され、2016年には第六十次式年造替が行われました。私も「檜皮一束(ひわだいっそく)」を奉納したことがあり、葺き替えに使われたのかと思うとうれしく思います。朱塗りの社殿の回廊に青錆た銅の釣燈籠は時代をタイムスリップしたようです。奉納された釣燈籠には神使である鹿が彫られたものなどがあり見るだけで心が温かくなります。釣燈籠には、あの直江兼統奉納の釣燈籠もあります。(暁)